



笑顔あふれるコミュニティ・スクールルーム

校長 中野尾 奈都江

梅雨の雨上がり、中庭のアサガオやサツマイモの葉に、雨の雫（しずく）が光っています。黄色いマリーゴールドが咲く中庭から昇降口に入ると、正面の窓から体育館横の紫陽花（あじさい）が見えます。手毬のような花は、青色や薄紫色に色とりどりに咲いて綺麗です。

また、昇降口には5月から大きな水槽が置かれていて、ザリガニ、メダカ、タニシがいます。登校した子ども達が毎朝のぞき込んでいます。B棟2階の学校図書館前にも水槽があり、子ども達は、熱帯魚のネオンテトラやグッピーの泳ぎを眺めて楽しんでいるようです。



和土小学校では、中庭の花や野菜、校内の壁面掲示、「スマイル階段」の「元気が出るメッセージ」など、校内外の環境を整え、きれいで楽しい学校づくりをしています。今年もPTAの方々が、「和土ギャラリー」を綺麗に七夕飾りで飾ってくださいました。子ども達と教職員は、短冊に思い思いの「願い」を書いて笹の葉に飾りました。子ども達が「七夕飾り」で季節を感じたり、安全に登校できたりするのは、保護者の皆様や地域の皆様が学校を長年支えてくださっているおかげだと思っています。雨の日も風の日も、忙しい合間を縫って通学路に立って登校の旗振りをしてくださる方々、朝夕地域を回ってくださっている方々、本当に感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございます。

さて、6月4日に第1回学校運営協議会を多目的室で開催しました。前年度までに「明るく 楽しく 元気よく あいさつができる 和土っ子」を学校・家庭・地域が一体となって目指す、というテーマが決まっていますので、今回はそれを具現化するための「熟議」でした。代表委員の子ども達も参加して、3グループに分かれて「熟議」をしました。話合いに先立ち、前期代表委員会委員長が「みんなが仲のよい和土小」を目指しているという趣旨の「児童の意見表明」をしました。和土小の「花笑みキャラクター」を6年生から考え始め、学校全体・地域全体にもイラスト募集を考えているということも話しました。各委員会の委員長は、「委員会活動として、地域でできることはないか」や「地域の人に学校に来てもらって、一緒にできることはないか」という視点で意見を言っていました。学校運営協議会委員の皆様は、子ども達の意見を微笑んでうなずいて聞いてくださり、あたたかい雰囲気の話合いでした。学校運営協議会で出たご意見や提案は、今後、スクールサポートネットワーク協議会等で地域の方々にお伝えしてまいります。

また、「地域とともにある学校」として、「地域共生」を進めるにあたり、地域の皆様の学校内の活動拠点となる「コミュニティ・スクールルーム（略称CSルーム）」を整えています。A棟1階の多目的室と併設し、地域の皆様が、交流したり、情報交換したり、情報発信できるようなスペースとします。子ども達と地域の方で「顔の見える交流」ができるようにしていきたいと思っています。子ども達が主体的に「社会参画」する場や機会が学校・地域にあると思います。「花笑み教育」の「つながり」の場として「地域とつながる・仲間とつながるCSルーム」を目指していきます。「花笑み教育」を進め、みんなの笑顔あふれるコミュニティ・スクールを、地域の皆様とともに実現していきたいと思っています。